

科目名	数学 I	教科	数学	単位数	3
教材	①新編 数学 I (数研出版) ②Study-upノート数学 I (数研出版)	教材費 (予定定価)	①1,260円 ②534円		

共通履修科目	選択する学年	1
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	中学数学の発展内容が多い科目であるので、これまでの復習や基礎基本を重視し基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。「数と式」「2次関数」「図形と計量」「データの分析」において事象を数学的に考察する力を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書を中心に学習し、プリントでの演習も適宜行う。学習した内容の演習時間を多くとり実践力を育成する。
評価方法	定期考査、授業への取り組み(活動の様子・課題の提出状況・小テストの結果)などを総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
【1学期】 数と式 整式の加法・減法・乗法、因数分解、実数、根号を含む式の計算、1次不等式、不等式の性質、1次不等式、絶対値を含む方程式、不等式 【2学期】 数と式(集合と命題) 集合、命題と条件、命題とその逆・対偶・裏、命題と証明 2次関数 2次関数とグラフ、2次関数と値の変化、2次方程式と不等式 【3学期】 図形と形量(三角比) 三角比、三角形への応用 データの分析 データの整理、データの代表値、データの散らばりと四分位範囲、分散と標準偏差	数と式で必要な計算方法の習熟を中心に、計算の工夫などについての学習を行う。 集合と命題における考え方を理解し、逆・裏・対偶などについての表現の方法について学習を行う。 不等式の解法や関数で必要な計算法の習熟を中心に、不等式や関数の考え方についての学習を行う。 三角比で必要な計算方法の習熟を中心にした学習を行う。 データの分析における基本的な概念・法則などを学習する。

評価の観点

関心・意欲・態度	数と式・2次関数・図形の計量及びデータの分析の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
思考・判断・表現	数と式・2次関数・図形の計量及びデータの分析において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることを通し、数学的な見方・考え方を身に付けている。
技能	数と式・2次関数・図形の計量及びデータの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
知識・理解	数と式・2次関数・図形の計量及びデータの分析における基本的な概念・原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。

科目名	数学Ⅱ		教科	数学	単位数	4
教材	①新編 数学Ⅱ (数研出版) ②Study Upノート数学Ⅱ (数研出版)			教材費 (予定定価)	①1,562円 ②745円	

○	系列選択科目	必修系列	自然科学と情報	選択できる系列	
---	--------	------	---------	---------	--

	自由選択科目	選択する学年	2
--	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	数学Ⅰの上級科目を学習したい人。数学Ⅱが入試等で必要な生徒。次年度数学Ⅲを履修したいと考えている人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	必修科目(全員が受講する科目)の数学の授業と比較すると、進度はやや速く、難易度もやや高い。しかし、その状況を活用し、この科目の受講を通して課題発見能力・計画力・問題解決力等を高めてもらいたい。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書を中心に各単元の理解を進め、ワークでの演習を通して定着を深める。
評価方法	定期考査、授業への取り組み(活動状況、課題の提出状況、小テストの結果)などを総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1学期 【式と証明】式と証明・等式・不等式の証明 【複素数と方程式】複素数と2次方程式の解・高次方程式 【図形と方程式】点と直線・円・軌跡と領域	教科書等で単元の理解を進める。各単元の終盤にスタディーアップノートを用いて演習をし、単元の内容を定着させる。「必修科目の数学の授業と比較すると、進度はやや速く、難易度もやや高い」この科目の学習を通して、課題発見能力・計画力・問題解決力等を高める。
2学期 【三角関数】三角関数・加法定理 【指数関数と対数関数】指数関数・対数関数	
3学期 【微分法と積分法】微分係数と導関数・関数の値の変化・積分法	

評価の観点

関心・意欲・態度	方程式の解法や三角関数の性質に関心をもっている。 指数と対数、微分と積分などの関わりに関心をもっている。
思考・判断・表現	関数のグラフを理論的に考察し、数学的に判断できる。
技能	方程式を解く技能、微積分の計算技能を身に付けている。 図形と数式との関係を理解し適切に表現できる。
知識・理解	微積分や平面図形の性質を理解し、推論する力を身に付けている。

科目名	数学Ⅲ		教科	数学	単位数	4
教材	①最新 数学Ⅲ(数研出版) ②Study-Up ノート数学Ⅲ(数研出版)			教材費 (予定定価)	①1,685円 ②895円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	2年次に数学Ⅱを履修している人。
選択のめやす	数学を専門的に学習したい人。理系大学の進学を考えている人など。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	数学Ⅲの学習内容である「複素数」「2次曲線」「関数」「極限」「微分・積分法」について、基本的な内容をしっかりと身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書を中心に学習し、学習した内容の演習時間を多くとり実践力を育成する。既習内容とのつながりを確認しながら、学習を進めていく。
評価方法	定期考査、授業への取り組み(活動状況、課題の提出状況、小テストの結果)などを総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
【1学期】 ・複素数平面 ・複素数の極形式 ・複素数と平面図形 ・2次曲線の平行移動 ・極座標と極方程式 ・無理関数 ・複素数の和と差 ・ド・モアブルの定理 ・放物線、楕円、双曲線 ・曲線の媒介変数表示 ・分数関数 ・逆関数と合成関数	複素数平面の性質を理解し計算問題、図形問題等を演習し理解を深める。 2次曲線の基本を理解し図示する。 媒介変数表示から方程式を導く。 分数関数、無理関数の性質を理解する。 極限の考えを数列に応用する。 極限の性質を利用し関数の極限を求める。 関数の極限の性質を用いて、様々な導関数を導く。 不定積分、定積分が計算できるようにする。
【2学期】 ・逆関数と合成関数 ・極限の計算 ・無限級数 ・いろいろな関数の極限 ・不定積分とその基本性質 ・数列の極限 ・無限等比数列 ・関数の極限 ・さまざまな導関数	
【3学期】 ・置換積分と部分積分法 ・定積分とその基本性質 ・定積分の置換積分法と部分積分法	

評価の観点

関心・意欲・態度	数列の極限、無限関数に興味をもっている。2次曲線やさまざまな関数に関心をもち、そのグラフについて意欲的に考察しようとする姿勢がみられる。
思考・判断・表現	様々な関数に関わる量を求めるために、微分法や積分法が応用できることを把握している。
技能	数列の極限、無限級数、関数の極限の計算技能を身に付けている。 様々な関数の微積分の計算を正確に行うことができる。
知識・理解	関数の極限、無限等比級数について基礎的な知識を身に付けている。 様々な関数を微積分する方法を理解している。

科目名	数学A		教科	数学	単位数	3
教材	①新編 数学A(数研出版) ②Study-Upノート数学A(数研出版)			教材費 (予定定価)	①1,082円 ②496円	

共通履修科目	選択する学年	2年
--------	--------	----

学習目標 (どのような力をつけるのか)	数学Aの学習内容の中から「場合の数と確率」「図形の性質」について学ぶ。これらを学習することにより、直感的に考察したり、論理的に考える力を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書の内容を講義やグループでの活動を通して学習する。
評価方法	定期考査と授業への取り組み(活動状況、課題の提出状況、小テスト結果など)を総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
【1学期】 ・集合の要素の個数 ・場合の数 ・順列 ・組合せ 【2学期】 ・事象と確率 ・確率の基本性質 ・独立な試行と確率 ・条件付き確率 【3学期】 ・三角形の辺の比 ・三角形の外心・内心・重心 ・チェバの定理・メネラウスの定理 ・円に内接する四角形 ・円と直線 ・2つの円	すべての起こりうる場合は何通りあるか数え上げる方法を学ぶために正確にもれなく記述する。 結果が偶然に左右される事柄について調べて考察する。 言葉の意味する内容を明確に定め、議論を推し進める 平面図形に関する性質について学び、その性質を使い、論理的に考察する。

評価の観点

関心・意欲・態度	結果が偶然に左右される事象に関心がある。 平面図形に関心をもち、考察する意欲がある。
思考・判断・表現	物事が起こりうる期待度を数学的に判断できる。 物事を論理的に考察し判断できる。
技能	場合の数を正確に数え上げる技能がある。 物事を論理的に考える技能がある。
知識・理解	確率の意味、基本性質について理解できる。 平面図形の性質を理解し、推論する知識がある。

科目名	数学B		教科	数学	単位数	2
教材	①最新 数学B (数研出版) ②Study-upノート数学B(数研出版)			教材費 (予定定価)	①1,321円 ②575円	

○	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	自然科学と情報
---	--------	------	---------	---------

自由選択科目	選択する学年	3
--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	数学を専門的に学習したい人。理系大学への進学を考え、数学Bが大学入学試験に必要な人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	数学Bの学習内容の中から「ベクトル」「数列」について学ぶ。これらは、数学I、数学Aを履修した生徒を対象としたやや専門的な単元であり、それらを学習することにより、事象を数学的に考察する力を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書を中心に学習し、プリントでの演習も適宜行う。
評価方法	定期考査、授業への取り組み(活動の様子、課題の提出状況、小テストの結果、演習中の活動内容)などを総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
【1学期】 ・平面上のベクトル ・ベクトルの意味・加法・減法・実数倍 ・ベクトルの成分、演算、内積 ・位置ベクトル	ベクトルの意味や基本性質、演算方法などについて学習する。 図形の問題をベクトルを利用して解く力を身に付ける。 空間におけるベクトルについて、平面上のベクトルと同じようにとらえる力を身に付ける。
【2学期】 ・空間の座標 ・空間のベクトル、成分、演算、内積 ・数列 ・等差数列、等差数列の和 ・等比数列、等比数列の和	簡単な規則性を持つ数の並びの性質や、その和について学ぶ。 いろいろな数列の和について調べる。 隣り合う2つの項の関係から一般項を求める。
【3学期】 ・和の記号、いろいろな数列の和 ・漸化式	

評価の観点

関心・意欲・態度	数列やベクトルに関心をもっている。 事象を数学的に捉える見方・考え方をもっている。
思考・判断・表現	数の列の規則性やベクトルの性質について考察できる。 結果に基づいて数学的に判断できる。
技能	計算力・考察力の技能を身に付けている。 自己の考えを的確に表現できる。
知識・理解	数列やベクトルについての数学的な理解ができる。 理解や表現に必要な専門的知識を身に付けている。

科目名	基礎数学	教科	数学	単位数	2
教材	随時プリントを配布		教材費 (予定定価)	なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	2年
------------------------------	--------	----

選択の条件	なし
選択のめやす	中学校までの算数・数学の既習内容について、理解をより深めたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	高校生が「一般常識力」として身に付けておく必要がある小中学校における数学の内容の理解を深化させる。論理的思考力や処理能力なども身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	「ふりかえり→演習→解説→理解・定着」のサイクルで中学校・高校1年までの既習事項の学習を行う。
評価方法	定期考査と授業への取り組み(活動状況, 課題の提出状況, 小テストの結果など)を総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<ul style="list-style-type: none"> 数と式 1次方程式・連立方程式・2次方程式 図形・面積・体積 論理的思考力・処理能力を高める演習 	配布するプリント教材を用いて「ふりかえり→演習→解説→理解・定着」のサイクルで学習する。

評価の観点

関心・意欲・態度	計算において、解法を理解しようとしている。 効率的な解法などに関心を持ち、その理解・習得に意欲的である。
思考・判断・表現	解法の本質を見極めることができる。 どのような概念を使うか判断できる。
技能	計算・式を解く技能を身に付けている。 自分の思考を式や文章等で表現できる。
知識・理解	公式や定理を理解し、それを活用できる。 論理的に思考し表現する方法や手順を理解している。

科目名	数学 I A基礎演習	教科	数学	単位数	2
教材	専門学校受験 看護医療系の数学 I +A	教材費 (予定定価)	1,620円		

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	人間文化と芸術・自然科学と情報
-----------------------	--------	------	---------	-----------------

<input type="checkbox"/>	自由選択科目	選択する学年	3
--------------------------	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	看護専門学校の受験を希望している人、数学を意欲的に学びたい人など。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	看護学校入試の頻出問題を教材とし、基本事項の復習とともに、入試問題レベルの数学力をつけることを目的とする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	分野・単元ごとに系統的に解説を行い、その演習を行うことで理解と定着を図るとともに実践力を付ける。
評価方法	定期考査と授業への取り組み(活動の様子、課題の提出状況、小テストの結果など)を総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<ul style="list-style-type: none"> ・数と式 ・方程式・不等式 ・2次関数 ・割合 ・三角比 ・集合と論理 ・個数の処理 ・確率 ・平面図形 	看護学校入試頻出問題について分野・単元ごとに系統的に取り組むことにより、基礎・基本の理解・知識をより深化させ、実際の入試問題レベルの問題に対応できる力を、演習を通して身に付ける。

評価の観点

関心・意欲・態度	積極的に授業に取り組み、問題解決に意欲的に取り組もうとしている。
思考・判断・表現	公式や解答法をただ暗記するのではなく、解法への本質を見極めようとしている。
技能	授業ノートのとまとめ、整理がきちんとでき、問題解決に必要な計算力を身に付けている。
知識・理解	法則・公式・用語・記号などを理解し、基礎的な知識と応用力を身に付けている。

科目名	数学総合演習		教科	数学	単位数	2
教材	①数学Ⅰ・A 30分プレノート(数研出版) ② イニシャルノート(数研出版)			教材費 (予定定価)	①1,069円 ②486円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	センター試験を利用して大学受験を考えている人など。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	大学入試センター試験「数学Ⅰ・A」の受験に対応できるように、実践予想問題を通して教科書内容の理解とセンター試験において必要な力を育成する。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	数学Ⅰと数学Aの教科書を活用し実践予想問題で明らかになった弱点を振り返りながら大学入試センター試験に必要な力をつけるための演習をする。
評価方法	定期考査、授業への取り組み(活動の状況、課題の提出の状況、小テストの結果)などを総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
イニシャルノート 数学Ⅰ 1～17 数学A 18～27 プレノート 第1, 3, 5, 7, 9回 第1問 [1] 方程式と不等式 [2] 論理と集合 第2問 図形と計量, 平面図形 第2, 4, 6, 8, 10回 第1問 2次関数 第2問 場合の数と確率	イニシャルノートで各単元の復習・重点事項を確認する。 プレノートを用いて実践演習を行う。

評価の観点

関心・意欲・態度	各問題の出題内容を教科書を用いて復習し、基本的な技術・知識を身に付けようとしている。
思考・判断・表現	マークシート方式の問題について、出題者の意図を読み取り、解答の流れにのる思考ができています。
技能	小テストや課題で示した問題をとおして基本事項を整理できています。
知識・理解	題意に沿った解答の方法や、図形の作図をし、どの定理を利用すればよいかの判断ができています。

科目名	就職数学	教科	数学	単位数	2
教材	実践テスト形式ベストステップ数学 I 改訂版		教材費 (予定定価)	473円	

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	ビジネスコミュニケーション
-----------------------	--------	------	---------	---------------

<input type="checkbox"/>	自由選択科目	選択する学年	3
--------------------------	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	民間企業への就職を考え、就職試験における数学の対策をしたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	就職選考の筆記試験(一般常識)で頻出の問題を、既習事項を振り返りながら演習形式で学習する。年度後半には思考力や処理能力などを高める演習も行う。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	まずはこの授業に「各自の目標・ねらい」をもち、それに向き合う。テキストは「基本→練習→演習→実践」とステップアップできる構成で、授業時の解説だけでなく解答冊子も活用し、「目標」に沿った学習を進める。
評価方法	定期考査、授業への取り組み(課題提出状況・活動の様子・演習中の取り組む姿勢)などを総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
実数の計算・比と歩合 整式・乗法公式・因数分解 1次方程式・連立方程式・2次方程式・不等式・連立不等式・ 平面図形・面積・体積 論理的思考力・処理能力・問題発見能力等を高める演習	既習事項を振り返りながら頻出問題の演習を行う。 課題学習的題材で演習を行う。 電卓の効果的活用法を理解し、その演習を行う。

評価の観点

関心・意欲・態度	計算において、解法を理解しようとする。 効率的な解法などに関心をもち、その理解・習得に意欲的である。
思考・判断・表現	解法の本質を見極めることができる。 どのような概念を使うか判断できる。
技能	計算・式を解く技能を身に付けている。 自分の思考を式や文章等で表現できる。
知識・理解	公式や定理を理解し、それを活用できる。 論理的に思考し表現する方法や手順を理解している。

科目名	SPI数理分野演習	教科	数学	単位数	2
教材	①公務員試験 初級スーパー過去問よく出る判断推理(実務教育出版) ②プリント教材		教材費 (予定定価)	①1,512円 ②なし	

○	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	ビジネスコミュニケーション
---	--------	------	---------	---------------

自由選択科目	選択する学年	3
--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	公務員志望の人, 就職選考のためにSPI形式の演習を行いたい人など。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	判断推理とは, 一口では表現できないほど多くの内容を含んでいる。論理・発言、対応・順序・位置、暗号・推論・手順などの公務員試験に出題される問題を解くことができる力を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	これまでに学習していない解法等も必要となるため、基礎的な内容から学習し、問題演習を行う。
評価方法	定期考査, 授業への取り組み(活動の様子, 課題の提出状況, 小テストの結果)などを総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
○SPI(非言語分野)の総合演習 ・暗号、集合、命題 ・文章で表された条件 ・数量で表された条件 ・方位と位置 ・平面図形 ・空間図形 ○公務員試験形式の適性検査	「SPI非言語分野」「暗号の解説」「集合と要素の数」 「命題の真偽」「対応関係」「順序関係」「発言の真偽」 「操作の方法」「経路と距離」「方位と相互の位置関係」 「立体の組み立て」「立体の回転と切断」 「適性検査問題」などについて、基礎的な解法を理解し、徐の演習に取り組む。

評価の観点

関心・意欲・態度	暗号, 集合, 命題, 条件, 平面図形, 空間図形の問題の解法や考え方に関心をもつとともに, 数学的思考のよさを認識し, それらを問題の解法の考察に活用しようとしている。
思考・判断・表現	問題の整理・図や表などを用いた表現及びそれらを多面的・統合的に見ることを通じて推論や考察をすることができる。
技能	規則性を見出し推測することや, 論理的に的確に推測し正しい結論を得ることができる。 場合の数の考え方などを通じて, 操作の問題を解くことができる。 平面図形や空間図形の動点や数え上げの問題を解くことができる。
知識・理解	集合に関する基本的な用語・記号を理解している。 命題の必要条件・十分条件, 逆・裏・対偶などを集合と関連付けて理解している。 場合の数の計算方法を理解している。 空間や平面図形についての基礎的な知識を身に付けている。

科目名	数学 I A標準演習	教科	数学	単位数	2
教材	基本と演習テーマ 数学 I +A(数研出版)	教材費 (予定定価)	982円		

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	数学 I Aを用いて4年制大学へ進学を考えている人など。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	数学 I・A教科書の基本例題から章末の応用問題までを総復習し、記述式入試に対応できる基礎力を養う。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	テーマに沿った基本例題を授業で展開するが、その理解を深めるためにも予習として事前に授業の復習をしておく必要がある。それを基盤として練習問題で内容を定着させる。
評価方法	定期考査、授業への取り組み(学習への意欲、課題の提出、小テストの結果、活動状況)などを総合的に判断する。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1. 数と式 ①展開、因数分解、実数、根号 ②不等式の性質、1次不等式、絶対値を含む方程式、不等式 ③集合、命題と条件、必要条件と十分条件、逆・対偶・裏 2. 2次関数 ①関数とグラフ、2次関数のグラフ ②2次方程式、2次不等式 3. 図形と計量 ①三角比、相互関係 正弦定理と余弦定理、面積 4. データの分析 ①整理、代表値、散らばり 分散と標準偏差、データの相関 5. 場合の数と確率	因数分解の基本の手順を理解する。 文章題を式として表現する。 必要条件と十分条件を理解する。 2次方程式・不等式を2次関数とx軸との関係を理解する。 正弦定理と余弦定理を使い三角形の要素を求める。 代表値、散らばり、標準偏差等を利用しデータを読み取る。 集合の概念を確率の概念に結びつけ、そのつながりを理解する。

評価の観点

関心・意欲・態度	基本問題を予習し不十分な場合は教科書にもどって復習をし基本的な技術・知識を身に付けようとしている。
思考・判断・表現	テーマの例題を解くうえで数学 I・Aの知識をどのように応用しているか理解できている。
技能	小テストで練習しながらテーマの例題を解く技術をマスターしている。
知識・理解	ノート整理や課題の提出など勉強する上で必要な事柄がきちんとできている。

科目名	数学課題研究	教科	数学	単位数	2
教材	独自教材		教材費 (予定定価)	なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	数学の歴史や成り立ち、数学の難問などに興味がある人。 数学の課題研究をやりたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	「数学の歴史」「人間と数学との関わり」「人間の作った数理的な仕組み」「算学」「実生活と数学との関わり」などをテーマに、探求的課題研究を行い、数学の良さについて理解を深める。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	講義形式やグループでの話し合いを通じて数学への理解を深めた上で、他者へ自分の研究を発表する。
評価方法	課題の提出状況、発表の内容、授業への取り組みを総合的に判断し、定期考査は行わない。

学習計画
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
研究テーマの例 『数学の歴史と人間の歴史』 ・数の表し方について ・測量について 『現代の社会生活と数学』 ・社会生活と数学について ・数学を活用した身近な現象について ・統計と暮らし 『日本における数学と生活』 ・日本における数学と社会との関わりについて	講義形式の授業を聞いて数学に関することについて深く考える。 グループでの話し合い活動を行う。 プレゼンテーションソフトを用いた発表を行い、生徒同士が互いに評価する。

評価の観点

関心・意欲・態度	数学の歴史や数学と実生活との関わりに興味・関心をもち、これらについて積極的に調べ学習を行ったり、実物に触れたりすることができる。
思考・判断・表現	数学の歴史や数学と実生活との関わりについて、その時代背景を考察したり、数学の良さについて考えたりして、それらをレポートにまとめて発表することができる。
技能	数の表し方や統計の計算ができるようになる。
知識・理解	数学の歴史や数学と実生活との関わりについて理解している。